

ニュースレター

第 21 号 2020 年 11 月吉日発行

難病医療相談支援センター

松浦千春・中村良枝

(浜松医科大学医学部附属病院内)

〒431-3192 浜松市東区半田山1-20-1

TEL / FAX (053) 435-2477

いよいよ秋も深まり朝晩には肌寒さを感じる季節となりました。

皆様いかがお過ごしでしょうか？

当センターがある浜松ではこの夏歴代1位タイとなる41.1度を記録いたしました。

例年通りとはいかない生活が続き大変な日々を送られていることと思われます。

体調には十分に注意してお過ごしください。



研修会へのご参加ありがとうございました

令和2年度第1回難病医療従事者研修会（Web講習）「在宅患者の感染対策」が、YouTubeを使用したオンライン研修で行われ、10月5日で配信終了となりました。初めての試みとなるWeb講習でしたが、これまでの研修会を大きく上回る352名の参加がありました。新型コロナウイルス対策に直接かかわるタイムリーな内容だったことと、Web講習の性質上多くの方に視聴いただけたようです。ありがとうございました。しかし、初のWeb講習ということで問題点がいくつか上がりました。参加希望者が多く従来の参加票では不備があることがわかりましたので、参加申込みの方法を変更しようと考えています。また、パソコンによる視聴で音声聞き取りにくいことがあり申し訳ありませんでした。スマートフォン、イヤホン使用、静かな環境で見る方が聞き取りやすかったようです。次回WEB講習時には改善できるよう努めたいと思います。

研修後アンケートへのご協力ありがとうございました。

ご質問いただいた内容に対し、講師からの回答を浜松医大ホームページ難病医療相談支援センターの『難病診療連携コーディネーターからのお知らせ』に、2020年12月25日まで掲載致しますのでご参照ください。

次回の難病研修会について

次回の研修もWeb講習で「自己決定支援が出来る私になるために」を予定しています。講師は、浜松医科大学 基礎看護学教授 片山はるみ先生です。前回実施したアンケートからWeb会議ツール（ZOOM等）を使用できない施設があることがわかりましたので、eラーニング（YouTubeによる限定配信）とします。

企画中に京都でALS患者の囑託殺人が起きました。今回の内容は患者の自己決定の場に立ち会うことが多い職種の方々の参考になると思います。皆様のご参加をお待ちしております。

研修希望内容がありましたら
引き続き募集します。
naka44@hama-med.ac.jp
(中村良枝宛)まで、
よろしくお願いします。



難病医療に関わる診療科調査について

今回の診療科調査の結果は医療関係者だけでなく一般の方にも公開することとなり調査も大変であったと思います。お忙しい中調査へのご協力大変ありがとうございました。

調査結果は、今まで静岡県のホームページ『医療ネットしずおか』の関係者ログインページに掲載されていましたが、今回からは一般の方にも公開する方向です。調査結果がまとまるまでもう少し時間がかかりそうです。次回の調査は2022年を予定しています。今後も調査へのご協力をお願いします。

静岡県難病患者災害連絡協議会について

今年度の静岡県難病患者災害連絡協議会は、Zoomを使用したりリモート会議の開催を検討しています。時期は2021年2月頃の予定です。よろしくお願いします。

潰瘍性大腸炎を患いながら約7年8か月に及び総理大臣の職に就いた安倍氏が辞任されました。
賛否はありますが総理の激務を続けていたことに関しては、想像を絶する大変さがあったことだと思われます。
働きたい人が安心して働き続けることが出来る世の中になることを願います。



編集後記

ニュースレター21号をお読みいただきありがとうございます。

当センターの業務の一つとして研修会の開催があります。新しい生活様式の中で研修の開催も今まで通りとはいかず模索する日々です。不慣れなインターネットの利用でネット用語・ネット上のルール・Web会議ツールなどと格闘しています。

今後も参加しやすい研修を目指して日々頑張っていきたいと思えます。

